

日本の侵略、植民地支配の中で、人々がどのように生き、死んでいったのか、歩き、出会い、立ち止まり、感じ、考えたことをつづった9年分の記録。

日中戦争への旅

南京／海南島／香港／台湾／無錫・上海／広州／雲南／徐州・台兒莊／岳陽・廠窖・常德・長沙／桂林

加害の歴史・被害の歴史



解放橋(左)と桂林市街



任徳保さん



朝鮮と中国の少女像



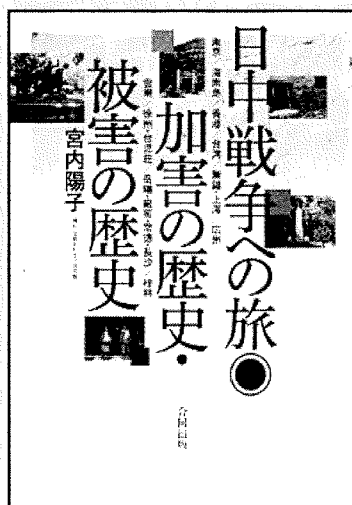
五百人碑



銃弾跡が残る建物



日本軍が慰安所として使用していた建物



〈神戸・南京をむすぶ会〉

1996年に開催した「丸木位里・俊とニューヨークの中国人画家たちが描いた南京1937絵画展」の実行委員メンバーが作った市民グループ。1997年以降、毎年8月に南京市内外の南京大虐殺の現場や、中国国内や各地に残る日本軍の加害の現場、幸存者、関係者を訪ねるフィールドワークを行っている。



好評発売中

●46判並製／272ページ 定価＝本体1600円＋税

合同出版

送料とも、1600円で販売します。

郵便振替<00930-6-310874 神戸・南京をむすぶ会>に1600円をお送りください。送料むすぶ会負担でお送りします。

神戸・南京をむすぶ会

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22 神戸学生青年センター内

TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019 e-mail hida@ksyc.jp